

佐賀市モデル事業報告 (令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業)

Plan 本年度のモデル事業

1 地域連携型モデル

単独校

学 校：城西中
種 目：男子バレーボール
指導者：①外部指導者
②中学校教職員（兼職兼業承認）
期 間：令和5年8月～

休日の部活動を中心に、指導主体を顧問教員から「**地域指導者**」に移行することによる効果・課題を検証

2 地域連携型モデル

複数校

学 校：諸富中・東与賀中・城西中
種 目：サッカー
指導者：①外部指導者
②中学校教職員（兼職兼業承認）
期 間：令和5年9月～

休日の部活動を中心に、指導主体を顧問教員から「**地域指導者**」（各学校顧問による輪番指導を含む）に移行することによる効果・課題を検証

3 地域クラブ活動型モデル

地域

学 校：北山校（ほか）
種 目：カヌー
指導者：佐賀県カヌー協会指導者
期 間：令和5年4月～

市内中学生などが休日に参加している佐賀しゃくなげ湖ジュニアカヌークラブへの活動支援及び広報協力することによる効果・課題を検証

検証

01

指導者の確保

検証

02

地域クラブ活動の円滑な運営要件

検証

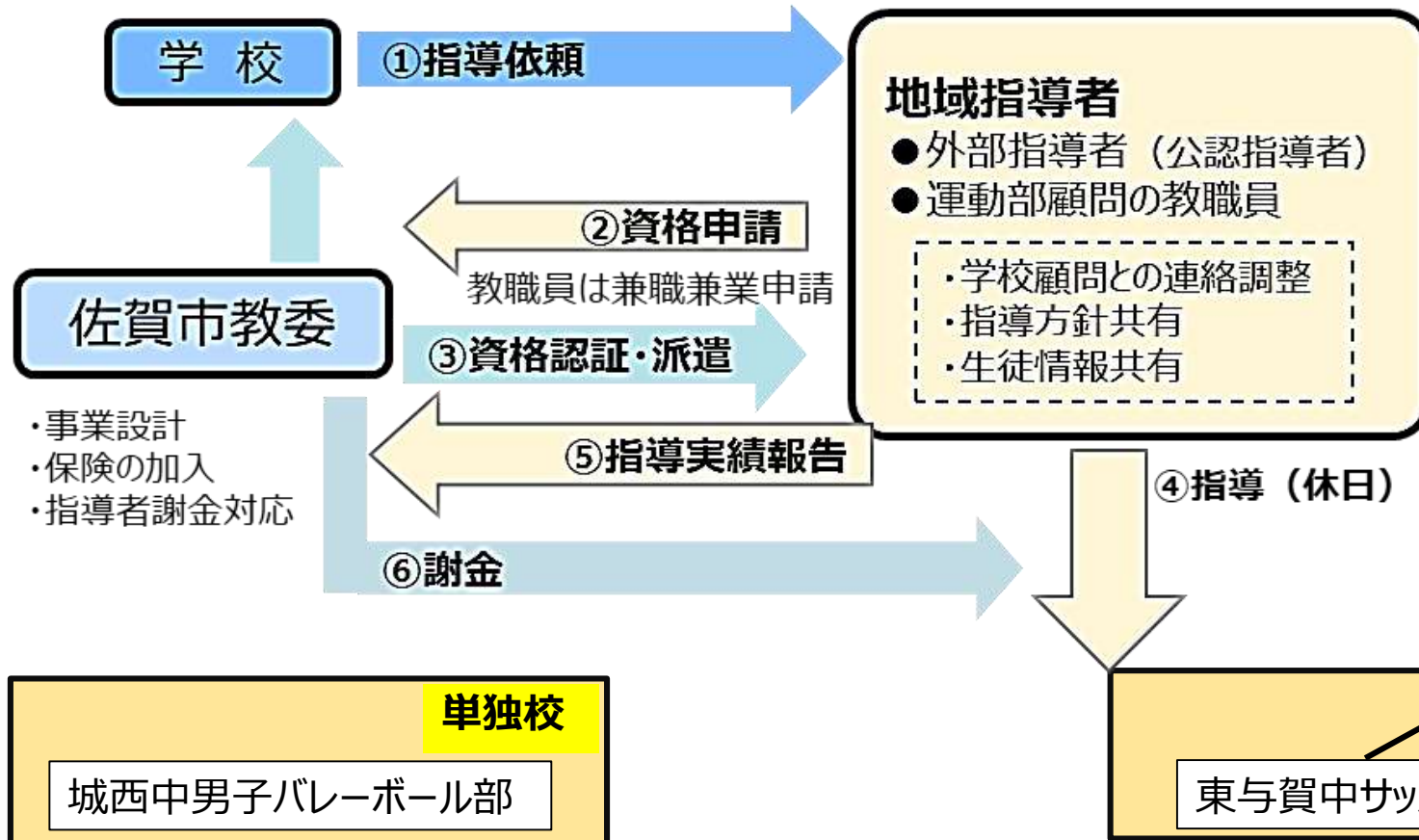
03

必要経費の把握



佐賀市モデル事業報告 (令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業)

D。 本年度の運営体制【地域連携型モデル】



▶ 地域指導者 認証基準

- (1) 当該部活動種目に係る指導者としての経験及び専門的な知識・技能並びに学校教育に関する十分な識見を有する者
- (2) 学校長からの推薦を受けた者
- (3) 令和5年4月1日現在の年齢が満18歳以上の者
- (4) 地方公務員法（昭和25年法律第261号）第16条各号に定める欠格条項に該当しない者
- (5) 過去の指導において、体罰、ハラスメント等、地域指導者として不適格と認められる事項のない者

- 教職員以外 (日本バレーボール協会公認コーチ1 / 外部指導者歴13年)
- 教職員 (兼職兼業) (部活動指導歴 / 学校長推薦)

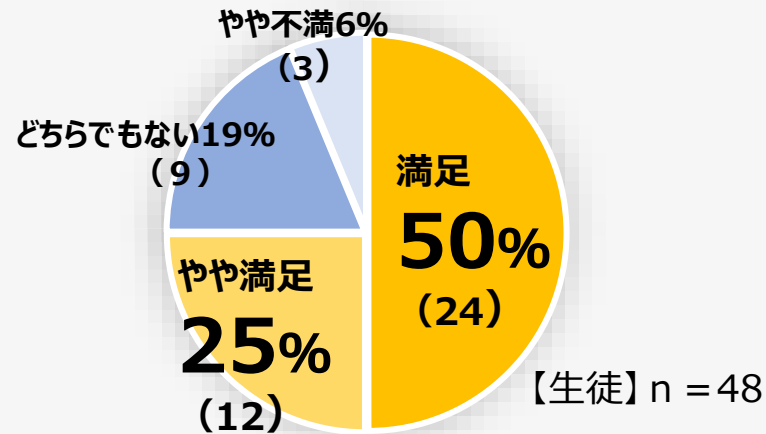
- 教職員以外 (JFA公認資格 / 民間クラブ指導歴18年)
- 教職員 (兼職兼業) (JFA公認資格 / 部活動指導歴 / 学校長推薦)

佐賀市モデル事業報告

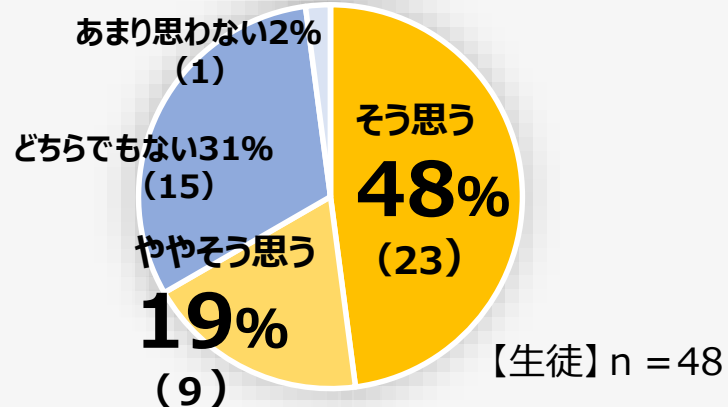
(令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業)

Check アンケート結果①【モデル事業対象校】

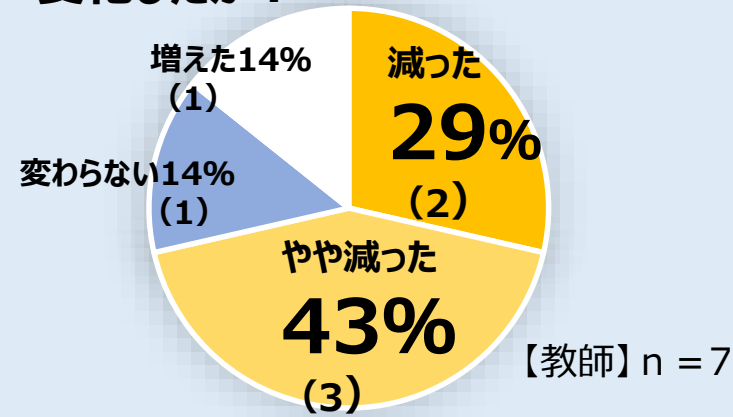
▶ 地域指導者の指導への満足度は？



▶ 今後も、休日の地域指導者主体の活動に参加したいか？



▶ モデル事業により部活動の負担感は変化したか？



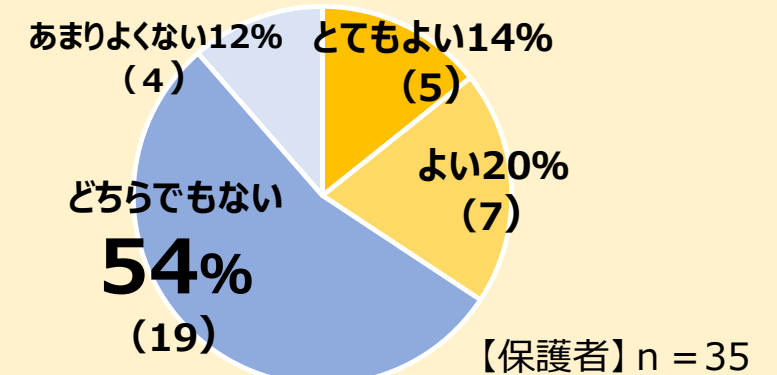
今後も地域指導者に指導してほしい

100%

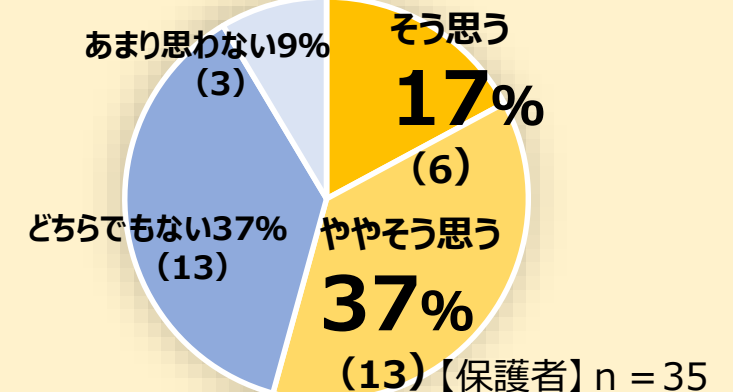
(7)

【教師】n = 7

▶ 休日の部活動が地域指導者主体の活動に移行することについて



▶ 今後も、休日の地域指導者主体の活動に参加させたいか？



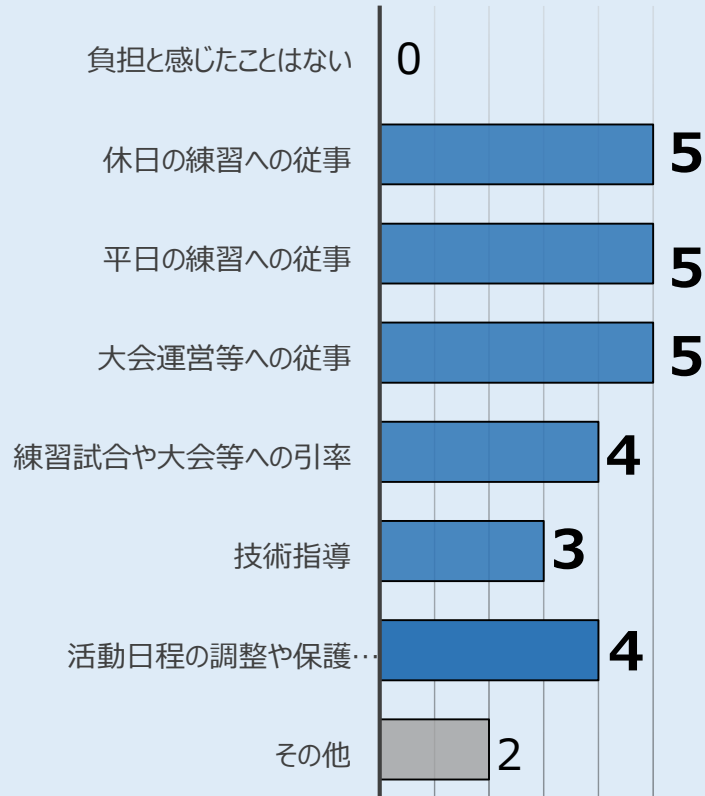
佐賀市モデル事業報告

(令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業)

Check

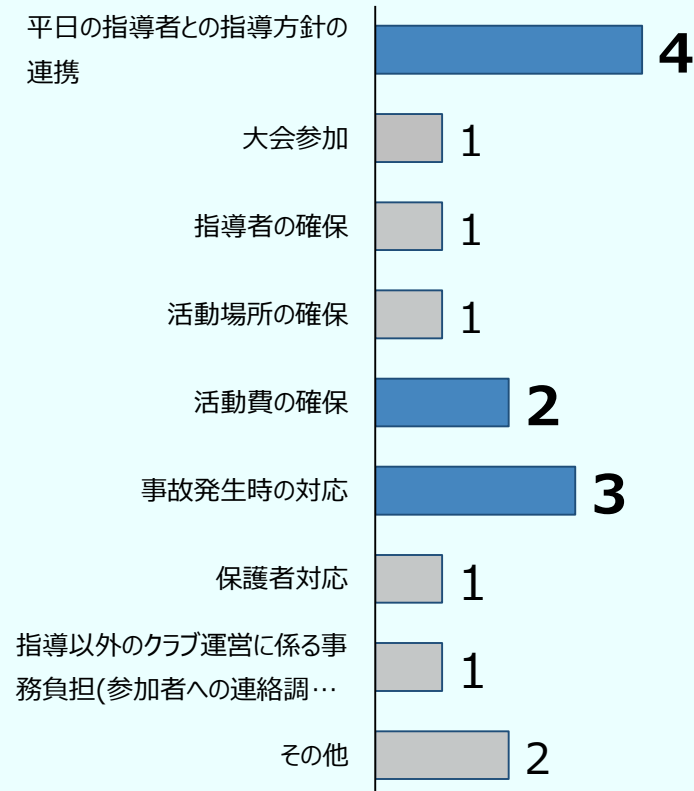
アンケート結果②【モデル事業対象校】

▶ 学校部活動に対し、負担と感じていることは？



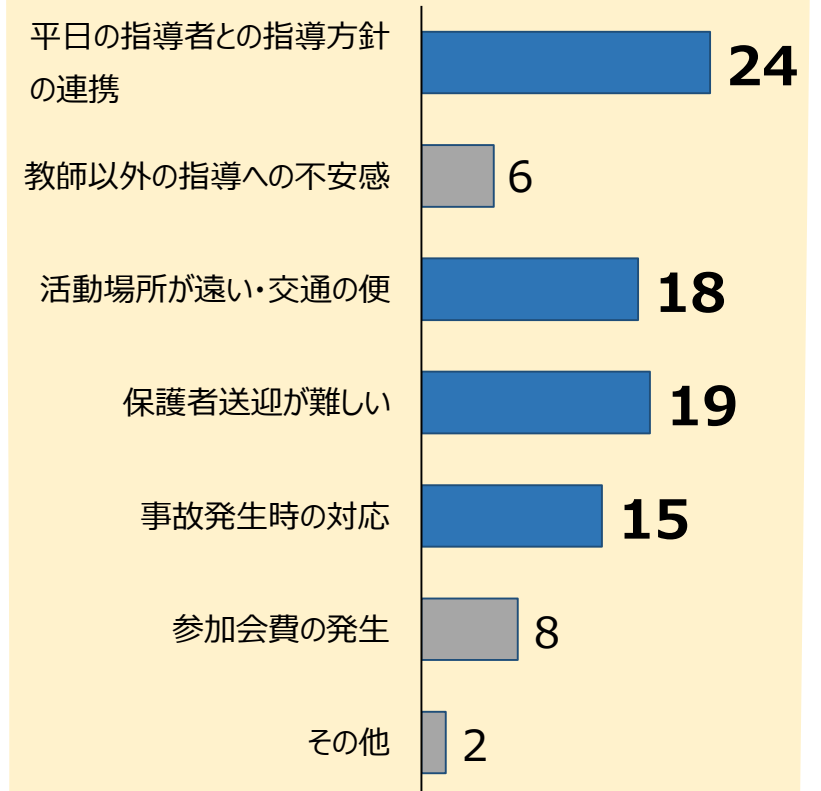
【教師】n = 7 (複数回答)

▶ 休日等の活動への指導にあたり課題となっていることは？



【地域指導者】n = 6 (複数回答)

▶ 子どもが休日の地域指導者主体の活動に参加するにあたっての課題は？



【保護者】n = 35 (複数回答)

佐賀市モデル事業報告

(令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業)

Check 成果

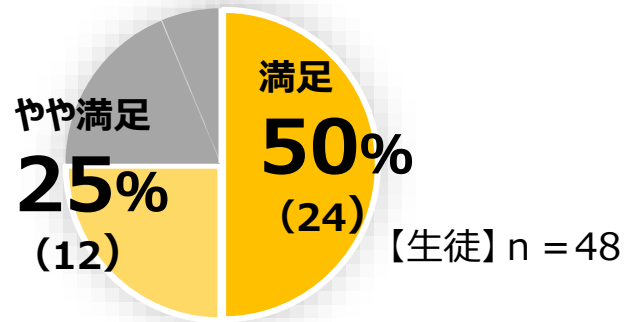
検証

01

指導者の確保

地域指導者の認証基準の整理

▶ 地域指導者の指導への満足度は？



今後も地域指導者に指導してほしい

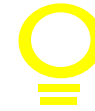
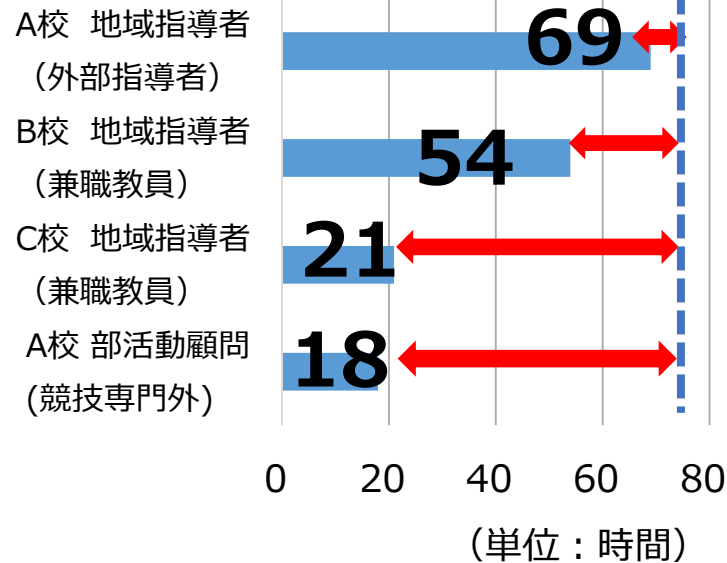
100%
(7)

【教師】n = 7

教職員の兼職兼業の運用

▶ 複数校合同チームにおける指導者の休日等の活動従事時間の比較

モデル事業期間（9月～12月）の総活動時間72時間



成果

単独校

複数校

01

指導者の“質”を保障

部活動指導員と同等の認証基準

02

指導者の“量”を保障

教職員の兼職兼業 × 地域指導者

輪番制による指導が可能となり
指導者の負担も分散！

佐賀市モデル事業報告

(令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業)

Check

課題と対応策

検証

01

指導者の確保



教師

地域指導者、指導従事希望の教職員に
指導者研修が必要ではないだろうか？



保護者

問題が生じた際の**対応窓口**はどこになるのか？
勝利至上主義にならないようにしてほしい。



学校

社会体育活動に関して、学校が**労働時間管理**するのは手間がかかる。
指導者個人が責任を取らなくていいシステムにしてほしい。



教師

大会引率を顧問教師以外にできないのか？

課題 1 指導者の質の向上

《対応策》

- ✓ **指導者研修**の実証・検証・改善

課題 2 教職員の兼職兼業の登録と派遣

《対応策》

- ✓ **受け皿団体**の確保
- ✓ **公的クラブ・民間クラブ・大学**との連携

課題 3 引率・大会運営の見直し

《対応策》

- ✓ **中体連・各競技団体**との協議
- ✓ **引率以外の大会運営従事**の在り方を検討

佐賀市モデル事業報告

(令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業)

Check 成果

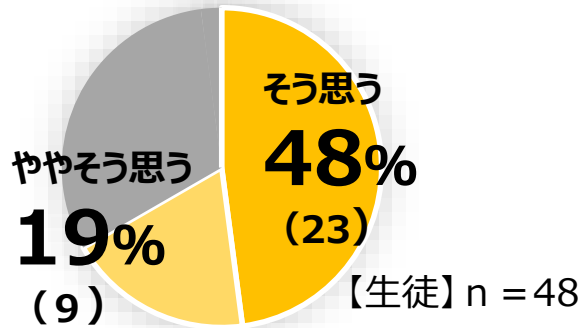
検証

02

地域クラブ活動の円滑な運営要件

平日と休日の指導者間の連携

▶ 今後も、休日の地域指導者主体の活動に参加したいか？



顧問も兼職兼業で入ってもらえたので、保護者会との連絡もスムーズにできた

地域指導者

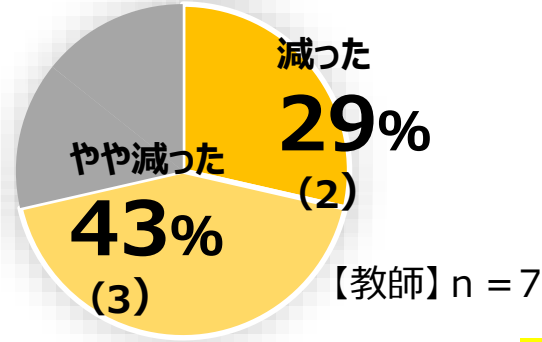


休日の指導者から、**平日の練習メニュー**をもらって取り組むことができた

生徒

休日の合同練習

▶ モデル事業により部活動の負担感は変化したか？



中学生だけでなく、**小学生**も加入し、多世代での練習が可能になりました。

地域指導者



パドルを整備してもらって、**効率よく練習**できるようになりました。

生徒

成果

01 指導者間の円滑な**情報共有**

単独校

教職員の兼職兼業 × 地域指導者

02 子どもたちの**活動機会**の確保

複数校 地域

実践練習の機会 / 多世代での練習

03 教職員の**負担感**の軽減

単独校 複数校 地域

競技専門の地域指導者による**技術指導**

佐賀市モデル事業報告

(令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業)

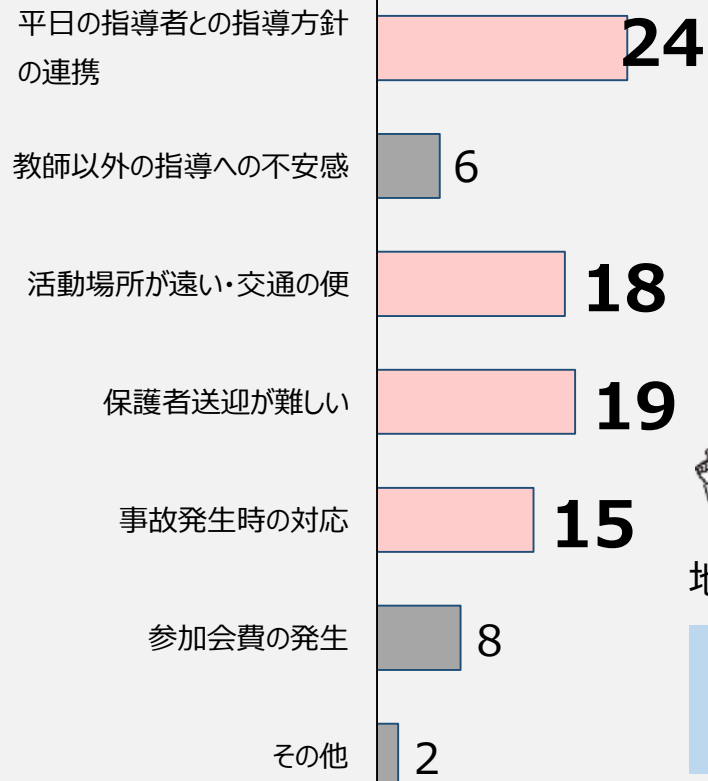
Check 課題と対応策

検証

02

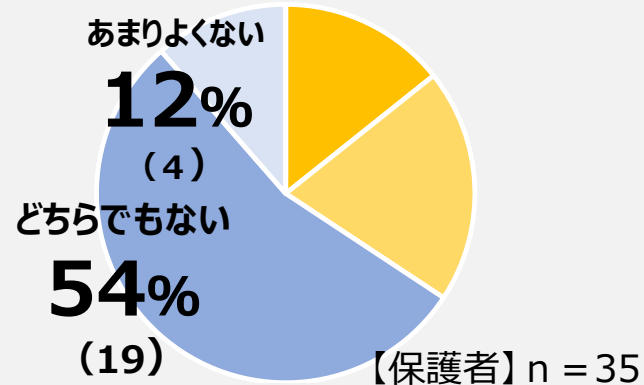
地域クラブ活動の円滑な運営要件

▶ 子どもが休日の地域指導者主体の活動に参加するにあたっての課題



【保護者】n = 35 (複数回答)

▶ 休日の部活動が地域指導者主体の活動に移行すること



地域指導者

部活の時間とずらして
学校施設を利用できないか休日は公共施設を利用するため
他団体との利用調整に左右

課題 4 保護者の負担感 (送迎・連携)

《対応策》

- ✓ 練習・練習試合・大会の日数精査
- ✓ 学校を介さない連絡手段の検討

課題 5 活動時間と施設利用

《対応策》

- ✓ 平日の部活後の活動を実証・検証
 - 学校施設の優先的な活用
 - 学校備品管理、施錠管理

課題 6 運営体制の整備

《対応策》

- ✓ 地域型クラブ運営 を検証
 - 緊急時マニュアル (学校との調整)
 - 場所の確保、施設の管理、責任の所在等 8

佐賀市モデル事業報告 (令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業)

Check 成果

検証

03

必要経費の把握

休日の運営に係る費用試算

(注1) 実証期間は9月～2月であるが、**年間見込み**で試算。
 (注2) 日数は大会等で土日2日間とも従事した実績を考慮して**月6日**で試算。
 (注3) 謝金額は、単独引率可能な部活動指導員と同額 (**1,600円/時**) で試算。

受益者負担「0」 R5はモデル事業（**国庫補助**）のため（指導者謝金、保険料）
 ※**施設使用料も「0」**（学校施設利用）

国庫補助がないと・・・

単独校 部員**17名**

受益者負担①+②

約**5,500**円/月

①**部費**《現状 **2,000**円》

・大会参加費・登録費
 ・運営費（活動用品補充）等

②**追加費用**《R5実績より部員1人あたり負担額試算》

3,406円/月（**指導者謝金、保険料**）
 40,876円 / 年

800円/年（**部員保険料**）

複数校 部員**31名**

受益者負担①+②

約**4,000**円/月

部費《現状 **2,000**円》

・大会参加費・登録費
 ・運営費（活動用品補充）等

追加費用《R5実績より部員1人あたり負担額試算》

1,873円/月（**指導者謝金、保険料**）
 22,476円 / 年

800円/年（**部員保険料**）

成果

01 モデル別負担額の把握

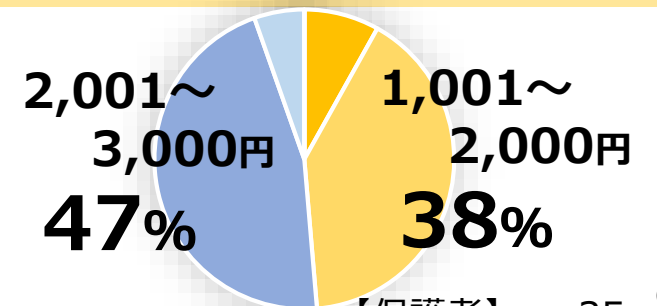
→部員数が多いほど受益者負担減

02 活動費以外の支出算出

- ・コーディネーター・会計事務員 配置
- ・団体運営費
- ・指導者養成（資格受講費補助等）
- ・コミュニケーションツール使用料 等

03 受益者負担許容額の把握

（保護者負担）



【保護者】n = 35 9

佐賀市モデル事業報告

(令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業)

Check

課題と対応策

検証

03

必要経費の把握



保護者

顧問教師

放課後の活動は子供の健全育成に大きく影響するため、**ボランティアではなく、報酬を支払い、指導者をあてるべきではないか？**

平日指導に対しての謝礼も必要では？



地域指導者

大会運営等への従事も含めた
適切な対価が必要ではないか？

平日も含めた費用試算 部員**31**名、指導者**3**名、部費**2,000**円

平日：(2時間) × 4日 休日：(3時間) × 1日 **1600**円/時

追加費用《R5実績よりより部員1人あたり負担額試算》

4,551円/月 (指導者謝金、保険料)

800円/年 (部員保険料)

受益者負担額

約**6,500**円/月

課題 7 国の支援に永続的な保証がない

《対応策》

- ✓ 地域で**自走できる資金循環**の仕組みづくりを検討

課題 8 受益者負担の不公平感

《対応策》

- ✓ **合同チーム**や**拠点型**への移行を促進
- ✓ **モデルケースを増やし**、適切な会費の検証

課題 9 平日も含めた指導に対する謝金

《対応策》

- ✓ **休日謝金**と**平日謝金**の検討・検証
- ✓ **長期休業期間の取扱い**の検討・検証